

地域に根ざし、小児から高齢者までに幅広く高度な眼科医療を提供する「おおしま眼科池本クリニック」が5月1日（火）、八尾市桜ヶ丘に開院します。池本淳子院長に開院に寄せる思いとクリニックの特色や白内障手術について、また同クリニックで難治性白内障や網膜剥離などの専門性の高い眼科手術を担当する同医療法人聖佑会グループの大島佑介理事長に最先端の眼科医療への取り組みについてお話を聞きました。

5/1(火)開院
眼科／小児眼科・白内障・網膜疾患の日帰り手術専門施設
おおしま眼科池本クリニック
〈2F〉



院長 池本 淳子 先生

●いけもと・じゅんこ／日本眼科学会認定眼科専門医。2001年に福井医科大学卒業後、京都府立医科大学眼科科学教室入局。複数の基幹病院にて臨床研鑽の後、2009年より東近江市立能登川病院の眼科部長として、これまで5000例以上の白内障手術を執刀しながら、小児の近視矯正・弱視治療にも従事。その臨床経験を高く評価されて、2018年5月より眼科日帰り手術専門施設「おおしま眼科池本クリニック」の院長（手術医兼任）に招聘された。



理事長 大島 佑介 先生

●おおしま・ゆうすけ／日本眼科学会認定眼科専門医・医学博士。1992年に大阪大学医学部卒業後、眼科科学教室入局。同大学眼科講師および医療法人西葛西井上眼科病院副院長を歴任して、大阪府高槻市に2014年より「おおしま眼科クリニック」、2016年より「かわさき眼科クリニック」、大阪府八尾市に2018年5月より「おおしま眼科池本クリニック」を開院し、手術部門を統括する。現在は京都府立医科大学眼科科学教室客員講師、中国南開大学医学院客員教授を兼任中。

より幸せな生活が送れる手助けをしたい

「目の前にいる一人ひとりの患者さんがより幸せな生活を送れるように手助けをするのが私の役割」と池本院長は、開院にあたり地域の方に向けた思いを語る。

勤務医時代には救急医療を担ったこともあり、「すべての患者さんを何としてでも治したい」と向き合ってきたことが私にとっての財産」と、その経験が今に繋がっていると語る。「自分の症状をうまく表現できずに困っている患者さんから、どんな疾患かを根気よく突き止めていくプロセスを大切にしています。正確な診断ができてこそ治療の効果は出るし、無駄な投薬をせずに済みますから」と患者最優先の強い信念がうかがえる。

また、糖尿病が眼に影響を及ぼす合併症としては網膜症以外にも多岐にわたり、それらの症例も数多く経験。「眼の症状から糖尿病が疑われることもあるので、同じビル内の糖尿病内科クリニックとも積極的に連携をはかっていきたい」との言葉は安心感が増す。



池本院長 講演の様子

地域医療に根ざした先端医療を提供する！

白内障手術については、池本院長自身これまでコンスタントに年間3000例超の手術を行い、延べ5000例以上の手術を手がけてきた実績を持つ。「全国有数のトップサージャーである当グループの大島理事長と二人三脚で白内障のみならず、網膜剥離などの緊急性の高い手術も積極的に受け入れる体制を整えています。これらはすべて日帰りで行うので、患者さんの負担が少なく済みます」と力強く語る。



落ち着いた雰囲気を受付・待合スペース

小児眼科にも注力。弱視、斜視、オルソケラトロジーによる近視治療も

池本院長は眼科医を選んだ時に小児科と迷ったほどで、前任の病院では小児眼科外来を立ち上げ、弱視斜視や幼児期から学童期にかけての近視遠視などの屈折異常の治療でも多くの実績を積んできた。同院の学童期の近視治療では八尾市で初めとなる「オルソケラトロジー」を導入。「自由診療となりますが、こ

の治療は夜間に特注のコンタクトレンズをはめて就寝するだけで、昼間は全く眼鏡なしで1.0見えることと学童期の近視の進行が大幅に緩和できることが最大なメリットと言われています」と眼鏡に頼らない最新の近視治療を行う。「子どもの視力の発達は9〜10歳までに完成しますが、それまでの間に強い近視や遠視などの屈折異常を見逃すと、将来にわたって弱視という障害を残してしまう可能性がありますので、とくに幼児期での検診がとて大切ですよ」と話す。しかし、実際のところ、初期の屈折異常を見つけておくことは簡単ではない。当院では生後6か月のお子さんの視機能もわずか数秒で正確に評価できる「スポットビジョンスクリーナー」という小児専門の測定機器を導入し、子どもにとってストレスの少ない環境を整える。

安心と満足を地域の皆様へ

「当医療グループが培ってきた最先端の眼科医療をもって患者さんに寄り添う診療を心掛け、皆様笑顔になれるお手伝いができるよう日々研鑽してまいります」と語ると同時に「すべては患者さんの安心と満足のために」という医療法人の理念の実践を固く誓われた。

池本院長の
昨年の手術実績
(2017年1月～12月)

- 白内障手術.....351件
- 眼瞼形成術.....42件
- 眼科小手術.....20件

地域の中核的役割を担う眼科日帰り手術専門施設を目指す！

医療法人聖佑会グループは、手術統括医師の大島佑介理事長が、「最先端の眼科医療を身近な地域医療として広めたい」との思いから、2014年に高槻市「おおしま眼科クリニック」を開院した。大阪大学医学部眼科講師として長きにわたり、様々な難治性疾患を治療してきた高い技術と若手の育成を手掛けてきた先生の情熱が注ぎ込まれたクリニックは、最新の手術システムを用い

た白内障と網膜剥離の日帰り手術の専門施設として高く評価され、開院してわずか3年の節目となる昨年2月にTBSのテレビ医療特番で「予約殺到・網膜剥離の日帰り手術専門施設」として紹介されたのが記憶に新しい。現在では地域のみならず、関西一円の他の眼科施設からの手術紹介患者も多く、2017年では手術総件数が2500例を超え、中には網膜剥離などの緊急性を要する手術も数多く含まれており、診断と治療の迅速性と確実性をモットーに、北摂地区における眼科医療の中核的な役割を担っている。



米国Duke大学アイセンター主催の記念講演

いる。「患者さんが遠くの病院まで行かなくてもいいように、これまで培ってきた経験を活かして最良の医療サービスを地域の皆さんに提供したい」と大島理事長は力強く語る。

白内障と網膜剥離手術のトップサージャーによる日帰り手術！

当院の手術統括医師の大島理事長は大阪大学医学部の眼科講師として長らく附属病院に勤務され、全国から集まる様々な難治性白内障や網膜剥離の手術治療に取り組んできた。その技術開発の高さはテレビ東京「ワールドビジネスサテライト」の医療特集「治る！最前線」でも取り上げられ、医師同士によって選ばれる「Best Doctors in JAPAN」にも2014年より2期連続で選出されている。



テレビ東京 ワールドビジネスサテライト医療特集「治る！最前線」

当院で行う日帰り手術の特徴！

白内障は全てが創口わずか2.4mmの角膜極小切開手術であり、所要時間が約5分程度の局所麻酔の手術である。痛みがなく、出血もほとんど起こらないので、抗

凝固剤を含めて内服薬を休薬することなく手術を受けることができる。眼内レンズは、老眼も治せる多焦点眼内レンズの種類も幅広く揃えており、患者ごとの適性やライフスタイルに合わせて柔軟に対応。当院のモットーである見え方の「質」にこだわった手術を行っている。



衛生管理を徹底した最先端の手術室

網膜剥離などの緊急性を要する手術は、失明防止が第一的であり、受診後迅速に手術を行える体制を整えている。執刀医である大島理事長の網膜剥離に対する過去3年間の日帰り手術成績は昨年10月刊行の「病院最前線2018」(毎日新聞出版)にも公開されている。

眼瞼下垂などの眼形成手術も行う。炭酸ガスレーザーによる切開は従来のメスによる切開に比べて、術後の眼瞼腫脹や皮下出血の頻度も少なく、術後数日ですぐに仕事に復帰できるのが大きな利点で、「当院は大学病院クラスの最新の設備をもつて、八尾市27万人の目の健康を支える所存ですので、まずは内覧会にお越し頂いて、当院の取り組みを見て頂ければ幸いです」と池本院長が言う。

当院での白内障手術の特徴
熟練した技術と経験に裏付けされた「質」の提供
～究極のQuality of Visionのために～

日進月歩を遂げる白内障手術は、今や見える「質」(Quality of Vision)が問われる時代です。当院では、一般的な白内障手術はもちろん、老眼治療で注目されている「多焦点眼内レンズ」を中心としたプレミアム白内障手術や難治性白内障手術も日帰り手術で提供します。

日帰り手術を安全かつ確実にするためには、経験豊富なエキスパートによる執刀が重要です。当院では年間約2000例を超える手術を執刀しながらも、国内外で講演や手術ライブを手掛け、数々の受賞歴を持つ大島佑介理事長が池本院長と同輪で外来診療と手術部門を担当します。

大島理事長は米国ベストドクター社から医師同士の評価によって選ばれる「Best Doctors in JAPAN」を2年連続受賞

医療法人聖佑会グループで行っている日帰り手術 (2017年1月～12月)

- 白内障手術 (先進医療認定施設).....2005件
うち、多焦点眼内レンズ.....279件
- 網膜硝子体手術.....294件
うち、網膜剥離の緊急手術.....79件
- 眼瞼形成術.....221件
- 眼科小手術.....58件
- 緑内障手術.....7件

内覧会のご案内
4月28日(土) 10:00～14:00

皆様に安心してご利用いただけるよう「内覧会」を開催します。院内の設備や医療機器、クリニックの雰囲気をご覧いただける機会となりますので、お気軽にお立ち寄りください。

- 静的動的視野計
二つの視野測定方式を搭載、緑内障の初期診断と経過追跡に有用
- 光干渉式眼軸長測定装置
多焦点眼内レンズ白内障手術に有用な赤外線レーザー測定装置
- スポットビジョンスクリーナー
小児の近視や遠視の屈折異常をわずかな数秒で正確に評価する検査装置
- 網膜光干渉断層計
瞬時にマイクで瞳孔の精度で網膜の異常を検出する装置